



◆商業

中小企業振興資金の融資枠を確保し、中小企業者を支援します。ど市、互市、夜市などの各種イベントを通じた商業振興を図ります。旧ダイエー一関店は、市民活動の拠点施設として整備します。

◆観光・物産

観光振興施策を戦略的に進めるため、観光振興計画を策定します。▼「いわてデスティネーションキャンペーン」におけるイベントの充実
▼平泉と市内の観光地を周遊するパンフレットなどの作成
▼観光地を結ぶ二次交通の整備
▼一ノ関駅における観光案内の強化―など、観光客の利便性の向上に努めます。

産業まつり、姉妹都市の福島県三町町、友好都市の埼玉県吉川市と和歌山県田辺市などとの交流を通じて、地場産品の宣伝と販路拡大に努めます。

4月29日に開局する一関コミュニティFM。地域に密着した情報と防災情報の提供が期待されています



②みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり

◆健康・医療

健康いちのせき21計画などの周知啓発に努めながら、市民の自主的な健康づくりや健全な食生活のあり方について意識の高揚を図ります。

移転整備する一関保健センターの実施設設計に着手します。健康診査は、各種がん検診などを実施します。

国民健康保険は、特定健康診査の促進、各種制度の周知、税収確保を図り、事業の健全な運営に努めます。

後期高齢者医療は、岩手県後期高齢者医療広域連合と連携しながら制度の周知、保険料の収納確保に努め、適切な運営を進めます。

地域医療は、地域医療・介護連携推進事業に取り組み、医療機関相互の連携、機能分担、医療と介護の連携体制づくりを進めます。医師確保を図るために医師修学資金貸付事業を実施します。

医師会などの協力を得て、休日当番医制事業や夜間救急当番医制事業を実施し、初期救急医療の確保に努めます。

予防医療の意識啓発に努めながら医療機関、市民、行政の役割や連携を強化して地域の

医療体制の充実を図ります。病院事業は、安定した経営と新しい地域医療の形を追求しながら適正な運営に努めます。

◆子育て支援

第3子以降の保育料無料化を継続します。▼曾慶保育園、藤沢こども園の移転新築
▼猿沢保育園の耐震補強工事
▼八幡町・あおば統合保育園の実施設設計に着手します。

放課後児童対策は、厳美地区の児童クラブ設立を支援するほか、大東、川崎両地域の施設充実を進めるなど保護者の就労支援と放課後の留守家庭児童の健全育成に努めます。家庭児童相談員を増員し、要保護児童対策に努めます。

市民のこころの相談支援を行うため、24年度から臨床心理士を配置して相談体制の充実を図ります。

◆障がい者福祉

きめ細やかな支援体制の充実と地域活動支援センターの整備促進を図り、障がいのある人の地域生活を支援します。就労支援に取り組み、自立と社会参加を促進します。

◆高齢者福祉

健康・生きがいづくりの活動を支援します。旧ダイエー一関店を活用した市街地活性化施設整備事業で高齢者の活

動拠点を整備し、趣味、教養、レクリエーション活動などを充実させます。高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業を実施して疾病予防に努めます。

◆生活保護

適正な保護に努めるとともに、自立を支援する社会参加推進プログラム事業を実施して社会参加や就労体験の場の提供に努めます。

◆一関遊水地事業

狐禅寺地区管理用通路と小堤の早期完了を図ります。磐井川堤防改修の用地買収や家屋移転に協力するほか、JR磐井川鉄橋架け替えの早期協議開始を要望します。磐井川堤防改修工事のために伐採せざるをえない桜並木は、60年前の植樹の思いを引き継ぎ、市民と共にその再生を図ります。

一関遊水地下流部の狭隘地区の治水対策は、砂鉄川合流点から宮城県境までの川崎、花泉、藤沢地域の区間で、小堤工事と一体的に事業が推進されるよう関係機関との調整や事業支援を強く働きかけます。

◆消防防災

地域防災計画を見直し、大規模災害に備え、公共施設を中心とした避難所に非常用発電設備を整備するほ

携の調印を行ったオーストラリア連邦セントラルハイランズ市との各種交流事業を展開します。

◆幹線交通網の整備

国道284号 室根バイパスは、用地買収を促進します。弥栄地区の道路改良を要望します。

国道342号 厳美バイパスと花泉バイパスは、全線の早期完成を促進します。花泉バイパス以南から宮城県境までの整備促進を要望します。

国道343号大原バイパスと主要地方道一関大東線生田・流矢地区 関係機関と連携して整備促進を要望します。陸前高田市と連携し、新笹ノ田トンネルの事業化を要望します。

国道456号 摩子地区の交差点の整備、藤沢バイパスの早期実現、宮城県境のトンネル化を関係機関と要望します。

国道4号 一関大橋以南の四車線化を要望します。国道4号を補完する栗原北上線の県道昇格を関係市町と要望します。

市道 矢ノ目沢金沢線、清水原一関線、中駒場線、松川駅前下線、増沢新沼線などを整備します。要望が多い歩道の設置は順次、整備します。

橋梁は長寿命化を図ります。街路は山目駅前山線整備を

か、防災行政情報システムと消防救急無線デジタル化などの整備を進めます。

土砂災害ハザードマップを作成し、警戒避難情報の周知を図ります。

防災拠点となる本庁舎・支所庁舎は、非常用自家発電設備の更新などを計画的に進めます。本庁舎と千厩支所庁舎は耐震補強工事の実施設設計に、川崎支所庁舎は改築整備に着手します。

木造住宅耐震改修工事助成事業を実施して耐震化を図ります。緊急経済対策住宅リフォーム助成事業を実施して

「新しい時代を切り拓き豊かな心を育むまちづくり」を推進するため、さまざまな教育施策を展開。岩手国体に向けた取り組みもはじめます



進めるとともに、中心市街地の回遊ルートになる歴史の小道の整備に係る社会実験を進めます。

◆バス交通・駅

利用者予測調査や試験運行の結果を踏まえ、市営バスなどの運行のあり方を具体的に検討します。一ノ関駅東口南駐車場は24年度、新たに拡張整備します。駅前トイレを整備します。

◆コミュニティFM放送

地域に密着した情報と防災情報の提供を行います。中継局を整備して、受信エリアの確保を進めます。

⑤水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり

◆地球温暖化対策

住宅用太陽光発電システム、太陽熱利用機器、高効率給湯器の設置を促進します。

防犯灯のLED化を進め、新エネルギー・省エネルギーの取り組みを推進します。一ノ関駅前西口北・南駐車場、地主町駐車場と西口自転車駐車場の照明灯を改修し、省電力化を進めます。

◆ごみ

ごみの減量化、資源化を進めます。市民の意識啓発を図るとともに監視カメラを活用して不法投棄を許さないまち

雇員機会の創出に努めます。東日本大震災で被災した住宅の復興のために借り入れた融資に対する利子補給を行うとともに、被災住宅の補修工事、被災宅地の復旧工事に対しても助成します。

水道未給水区域の災害復旧対策は、震災で枯渇したり、水質が悪化したりした井戸の掘削に要する経費を補助します。

◆消防救急体制

北消防署の建設、消防車両

の更新、飲料水兼用耐震性貯水槽の整備を進めます。市内全ての中学校で救急救命講習を実施します。

◆交通安全・防犯・生活相談

交通安全と防犯の意識高揚を図ります。地域が取り組む防犯灯の設置を支援します。

◆自殺予防

講演会や傾聴ボランティアの養成講座などを開催します。訪問・相談体制の一層の充実を図ります。

◆人材の育成

地域の将来を担う子どもたちが、社会人として自立できるようにキャリア教育に取り組みます。中学生を筑波研究学園都市に派遣します。

◆学校教育施設・図書館

25年4月の開校を目指す大東小の建設と川崎地域の統合小となる薄衣小の校舎を整備します。山目小と東山中の校舎改築、舞川幼稚園、真滝幼稚園、舞川中の耐震補強工事、藤沢中屋内運動場の耐震診断、室根中のプール改修工事を進めます。学校給食セ